

東京バッハ合唱団 月報

[第 619 号] 2014 年 1 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101

Tel: 03-3290-5731 Fax 専用: 03-3290-5732 郵便振替: 00190-3- 47604

Mail: office@bachchor-tokyo.jp <http://bachchor-tokyo.jp/>

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No. 619

January 2014

5-17-21-101 Funabashi,
Setagaya-ku, Tokyo

バッハ演奏史の世界的事実として 継続の力

高梨 公明 (春秋社編集部)

継続は力なり——これには達成感というのがつきものなのだろう。一口に継続といっても、言うは易し、行い難し、昨今、願ってもなかなか叶わないことだ。

東京バッハ合唱団のコンサートに行くと、いつも励まされ、勇気づけられる。そこには、かの継続の精神がみなぎっているからだろう。ただひたすらに音楽への、バッハへの情熱、音楽することへの全身全霊の営みといったことを感じ、演奏を拝聴する前に、感動がこみ上げてくる。

先般の《クリスマス・オラトリオ》公演 (2013 年 12 月 7 日) もそうだった。3 月の《マタイ受難曲》を挟んで (これも感動的だった)、後半の熱演。

いつも、あの人はどうしているだろうと、コーラスの面々を眺める。バス・パートの M 先生の思索的な表情はステージの上でも同じだ。テノールの熱弁屋さんも健在。アルト 2 人とテノール、バスの M ファミリー (お嬢さん背が高くなり、ハンサムご子息は大学受験とか…)、演奏に伴うこのインティメイトな感覚は、他のどのコンサートよりも心地よい。

今回もまた (いつも同じことに触れるのだが、何度でも言いたい!)、日本語によるバッハ演奏は、まことに味わい深い印象をうけることとなった。《クリスマス・オラトリオ》、何度聴いてもあらたな感動が生まれてくる特異な名作。真摯な信仰の音楽であることを超えて、われわれの普段の精神生活に向けてたくさんのメッセージが込められている。日本語演奏はその点で、ストレートに伝わってくる。母語でこそリアルに迫りくるドラマというべきか。

カンタータや受難曲でも大事な役割を持つコーラールは、この曲でも象徴的だ。四声体で唱和する祈りの音楽が登場するたびに、大村訳の適切な発語が音楽を彩る。今回も、コーラール楽章は全編にわたり、おおむねゆったりとしたテンポで、言葉をひとつひとつつかみしめるように歌われていた。有名な第 59 曲コーラール「なが傍えに立たん…」にしても、あの凱旋歌 (終曲コーラール)「あだは今しも…」にしても、一言一言が大事に大事に唱和されていた。

冒頭の言葉に戻りたい。継続の力! 先回の創立 50 周年記念公演の第 3 弾は、3 月 30 日の《マタイ受難曲》

だった (なんとこれが 108 回!)。その前日、私は鈴木雅明率いるバッハ・コレギウム・ジャパンの《ヨハネ受難曲》に接し、バッハ受難曲の大いなるメッセージに 2 日連続で触れたことになる。折しも BCJ は、先の 2 月の定期公演で 100 回目を迎えていた (こちらはチクルス演奏会 20 年)。その日の記念のプレトークでバッハ研究者ロビン・A・リーヴァー氏が、BCJ の偉業達成を讃えるとともに、世界のこれまでのカンタータ演奏史を総括されたが、日本におけるカンタータ演奏の嚆矢として、大村恵美子指揮東京バッハ合唱団の記録が声高に披露され、感銘深いものがあった (このことは、バッハ演奏史の世界的事実として改めて銘記されることとなったことは言うまでもない)。

で、《ヨハネ》といえば、次の公演第 110 回で取り上げられるという。渾身の《ヨハネ》を表現したい、と多くの団員が口々におっしゃっていた。晴れ晴れとした達成感のあとの言葉ゆえ、さすががしく響いた。来春をまた、楽しみにしよう。(12 月 14 日)

J. S. Bach *Johannes-Passion* BWV 245
Aufführung in japanischer Sprache
創立 50 周年記念公演 [5] 第 110 回定期演奏会
バッハ 4 大台座作品 [日本語] 連続演奏
Das 50-jährige Jubiläum [5] 110. Regulärkonzert
BACH-CHOR, TOKYO
東京バッハ合唱団
[日本語演奏]
ヨハネ受難曲
鏡貴之 [ニコラウス・アデル] [バールガン] 早間美也子
渡邊明 [ユゼフ・バズ] [管絃楽] 東京カンタータ室内管絃楽団
光野孝子 [ソプラノ] [合唱] 東京バッハ合唱団
佐々木まり子 [アルト] [指揮/歌詞] 大村恵美子
島海 寮 [テノール]
数西正道 [バス]
2014 年 3 月 15 日 (土) 13:30 開演
Samstag, 15. März 2014, 13:30 Uhr
杉並公会堂
Shindai Kaikyo Hall
東京都杉並区宮前 2-1-1 (有楽町線)
【入場料・全席自由席】 ●前売り 2000 円 ●当日 4000 円 ●前売り券 ●+2000 Vorverkauf ●+4000 Tageskarte
【チケット取扱い】 ●東京の全座席指定席 (演劇系下記) ●お問い合わせ: <http://bach.jp>
【チケット申込み・問合せ】 合唱団事務局 ●[電話] 03-3290-5731 ●[FAX] 専用 03-3290-5732 (楽団に申込みフォームあり)
●[Eメール] office@bachchor-tokyo.jp ●[ホームページ] <http://bachchor-tokyo.jp/>
【主催】東京バッハ合唱団 BACH-CHOR, TOKYO 【会場】ドイツ連邦共和国大使館 Botschaft der Bundesrepublik Deutschland Tokyo

次回・第 110 回定期演奏会《ヨハネ受難曲》創立記念公演 [5] 最終回
2014 年 3 月 15 日 (土) 13:30 開演、杉並公会堂 (次ページに予告)

“出会い=平和”で地球を満たそう

大村 恵美子（主宰者）

旧来の畏友、当合唱団団友の笠原芳光先生のご紹介で、春秋社から『バッハ コラール・ハンドブック』を出版することができたのは、あの3.11東日本大災害直後の2011年3月20日のことでした。この出版社で数々のバッハ関連著作を世に出しつつづけていらっしやる編集部の高梨公明様と、この折に出会い、私どもの原稿も担当していただくことになったのです。

折りしも合唱団創立50周年記念・バッハ4大合唱作品連続演奏のスタートの年、第1回にあたる《口短調ミサ曲》（同年12月3日、第106回定期）を皮切りに、今回2013年12月7日の第109回定期（連続演奏第4回）まで、高梨様は毎回欠かさず私どもの公演に通われることになりました。その間、2012年7月の創立50周年記念懇親会（市ヶ谷・私学会館）も加えて、それぞれの終演・終宴後の打ち上げ会にも何度もお残りくださいました。

それでも日常的に接するわけでもなかったのに、私たちがとの交流を「インティメイト」（親密）と呼んでくださって、たくさんの団員たちの人柄や動静までの確にとらえて記憶された高梨様の、深い洞察と愛情には頭のさがる思いです。それぞれの定演ごとに、月報にもご感想をお寄せくださいましたが、今回は、終演後にお目にかかることができ、またさっそくの温かいお励ましのメール（前ページ掲載のご寄稿）。おかげさまで波瀾の2014年幕開け冒頭に、力強いおことばを掲げることができました。

* * *

さて、12月号で触れた（「さあ クリスマスを始めよう」?!）稀代の悪法の成立から、あつというまに、世のなか、主権の所在が、個人から「公益及び公の秩序」へ、国家へ、全体へとどんどん押し流されていくようです。このスピードでいくと、2014年中には「積極的平和主義」の怪物が、憲法第9条を無力化しおおせてしまうのでしょうか。

私たちは、神頼み、他人任せではなく、各自の全力でこの国の舵取りを、権力亡者たちの手から奪い返さなくてははいけません。「もしかしたら」ではなく、「かならず」やり遂げなければならないのです。あの60年、70年の安保闘争の結末のように、負けた、とってあっさり平和への道から大半の運動員がわが身を守る「たこつば」に引きこもってしまった、にがく情けない歴史を繰り返すことなく、孫子（まごこ）のいのち・呼吸を、戦争と毒に満ちた大気に曝さないように、負（マイナス）のあらゆる悪に向かって立ち上がる時なのです。

世界中を見回しても、人智に乏しく、無知な破壊・殺し合いがひろがる一方です。宗教、政治体制、文化

すべての面にわたって多様を極めるアジアは、可能性も多様なだけに、欧州連合のような統一で一時的にも息をつけることは至難でしょう。とって、一強を試みる覇権主義は、過去の「八紘一宇」でこりごりなはずです。日も中も米も露も、みんな、危うく突出しそうな道を、早く閉ざしてゆきましょう。

私たちの努力のねらいは、友を内外・世界中に増やすことに限定してもよいではありませんか。高梨様が、私どもの合唱団に入り込まれてすぐに、親密さを育てられたように、これをお手本として、“出会い=平和”を、みんなで勝ち取ってゆきたいのです。同志を地球いっぱい満たしましょう。

* * *

《ヨハネ受難曲》は、バッハが1723年5月、39歳でライプツィヒの地に赴任した、その翌年の受難週（1724年4月）に、心をこめて世に問うた意欲的大作です。その数年後に、より大規模な記念碑的作品として構築した《マタイ受難曲》と比べてみると、前者は、敬慕してやまないイエスへの思い（Jesum in ne）がストレートに表出されていて、そこでは、あまりの激しい出来事に直面して愕然となる弟子たちの、痛々しい姿が、一方では、死にゆく師のこまやかな愛、従容たる神への服従の崇高さと輻輳して、より深く、するどく、聴くものの胸をつき刺すのです。

バッハ自身、この作品を生涯にわたって、ひときわ愛着しぬいたようで、何回も繰り返して演奏するごとに、そのつど最善と考えつく手入れを施したかたちで実演に供しています。それらを見ると、バッハがこの《ヨハネ》を、絶えず心に反芻して響かせていたのだということがわかります。

このたびの連続演奏にあたり、私たちは、期せずし

<次回公演予告>

第110回定期演奏会 《ヨハネ受難曲》

— 4大合唱作品連続演奏 [5]（最終回） —

日時：3月15日（土）、13:30 開演

会場：杉並公会堂

演奏：

鏡 貴之[エヴァンゲリスト/テノール]

渡邊 明[イエス/バス]、光野孝子[ソプラノ]

佐々木まり子[アルト]、鳥海 寮[テノール]

藪西正道[バス]、草間美也子[オルガン]

東京カンタータ室内管弦楽団[管弦楽]

東京バッハ合唱団[合唱]

大村恵美子[指揮/訳詞]

入場券発売中

前売り 3500円（全席自由席）

て、バッハの生涯を、晩年から壮年期へと逆行してたどってきたことになります。

＜バッハ4大合唱作品 [日本語] 連続演奏＞

- [1] 《ロ短調ミサ曲》2011年12月上演 (106 定期)
・・・成立 1749年、バッハ 64歳
- [2] [4] 《クリスマス・オラトリオ》前半 2012年11月、後半 2013年12月上演 (107、109 定期)
・・・初演 1734、35年、バッハ 49歳
- [3] 《マタイ受難曲》2013年3月上演 (108 定期)
・・・初演 1727年、バッハ 42歳
- [5] 《ヨハネ受難曲》2014年3月上演 (110 定期)
・・・初演 1724年、バッハ 39歳

私たちも、これに合わせて、永遠に若く初々しいバッハを、現在、自らも共に生きているような気持ちを抱くことができます。これにあやかって、これからの余生を、若さに向かって生き返すことを試みてはいかがでしょうか。頌春 2014年。

第 109 回定期演奏会

[録音録画メディア] 予約受け付けます。

- ・《クリスマス・オラトリオ》IV - VI
- ・カンタータ第 76 番《主の栄光を天は語り》

2013年12月7日、杉並公会堂にて開催された第109回定期演奏会（創立50周年記念公演[4]）の会場ライブ録音・録画によるメディアの予約を受け付けます。

出来上がりは、新年1月末の予定です。

4大合唱作品チクルス、これまでのCDも揃っています。なお、今回より、DVDとブルーレイ盤も用意します。事務局までお申込みください。



[DVD] 1枚
公演プログラム付き
頒価 3000円 (送料 80円)

[BRD] ブルーレイ盤
公演プログラム付き
頒価 3500円 (送料 80円)

いずれも関係者特価でお分けします。

[CD] 2枚組
公演プログラム付き
頒価 2500円 (送料 80円)



109 定期 開演直前スナッフ集

めったにお目にはかけませんが、50周年ということで、敢えて公開、開演前の一部始終。

2013年12月7日、杉並公会堂



10:01 (開演 3 時間半前) 光野先生のご指導で発声練習。
「舌を出す、ハイ。鼻の穴を開いて」



12:46 (開演 44 分前) 鏡でお分かりのように、楽屋は超過密。前回の紀尾井では、男声の部屋がなかった。



13:23 (開演 7 分前) 7 分前ですよ、この余裕。

(撮影：B 白井均氏)

年始と新年の活動予定（再掲）

<年始練習、開始>

1月6日（月）より・・・目白聖公会、18:30 - 20:30
 1月11日（土）より・・・荻窪教会、15:30 - 17:30

<2014年度 新規合唱団員募集>

・東京バッハ合唱団は、バッハを日本語でいっしょに歌う仲間を募集しています。次は「ヨハネ受難曲」。
 ・資格や経験はいっさい必要ありません。バッハが好き、合唱がしてみたい、気楽に楽しんでみたい、こんな方々のご参加をお待ちしています。

練習日（週1回でも両方でも、どちらも参加ご自由）
 ◇土曜日 15:30 - 17:30 荻窪教会（JR/地下鉄「荻窪駅」下車、南口10分、杉並区荻窪4-2-10）
 ◇月曜日 18:30 - 20:30 目白聖公会（JR「目白駅」目白通り5分、新宿区下落合3-19-4）。見学歓迎。

● ⇒ 詳細はHP。または事務局へお訊ねください。
<http://bachchor-tokyo.jp/>

●第110回定期演奏会

《ヨハネ受難曲》（創立50周年記念公演[5]最終回）
 日時：3月15日（土、四旬節第1週）13:30 開演
 会場：杉並公会堂
 （本号p.2に公演予告。詳細はチラシ参照）

●三崎町教会 四旬節特別演奏会

「合唱と聖書朗読による《ヨハネ受難曲》」
 日時：3月29日（土）
 会場：日本キリスト教団 三崎町教会
 入場無料（整理券発行の予定）
 演奏：金澤亜希子 [オルガン]、東京バッハ合唱団
 （詳細は、続報をお待ちください）

●荻窪教会 棕櫚の主日特別演奏会

「合唱と聖書朗読による《ヨハネ受難曲》」
 日時：4月13日（日）
 会場：日本キリスト教団 荻窪教会
 入場無料
 演奏：金澤亜希子 [オルガン]、東京バッハ合唱団
 （詳細は、続報をお待ちください）

●第111回定期演奏会

（12月頃、日時会場選定中。曲目候補：教会カンタータ BWV36、62、97、マフィア挿入曲などクリスマス用プログラムを企画中）

●第112回定期演奏会

（2015年8月頃、東北3.11被災地巡演プログラム。曲目 BWV14、81、92、227 モテットⅢ。月報610号に素案。現地と詳細を折衝中）

バッハ・カンタータと教会暦の聖句一覧 ⑩

<p>BWV 96 《キリスト 神のひとり子》(初演 1724) Herr Christ, der einge Gottessohn 【教会暦】三位一体節後第18日曜日(他に=BWV 169) [書簡]第1コリント1:4-9。神によって、あなた方は神の子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに招き入れられた。 [福音書]マタイ22:34-46。第一の掟、心を尽くし…て神を愛しなさい。第二、隣人を自分のように愛しなさい。</p>
<p>BWV 97 《わがすべてのわざ 主に導かる》(1734) In allen meinen Taten 【教会暦】不明(三位一体節後第5日曜日?、または結婚式?) (歌詞:フレーミングの同名コラール、第1節から9節)</p>
<p>BWV 98 《神の御業こそ ことごと善けれ》I (1726) Was Gott tut, das ist wohlgetan I 【教会暦】三位一体節後第21日曜日(=BWV 38, 109, 188) [書簡]エフェソ6:10-17。BWV 38に同じ。 [福音書]ヨハネ4:47-54。(同上)</p>
<p>BWV 99 《神の御業こそ ことごと善けれ》II (1724) Was Gott tut, das ist wohlgetan II 【教会暦】三位一体節後第15日曜日(=BWV 51, 138) [書簡]ガラテヤ5:25-6:10。BWV 51に同じ。 [福音書]マタイ6:24-34。(同上)</p>
<p>BWV 100 《神の御業こそ ことごと善けれ》III (1732-35) Was Gott tut, das ist wohlgetan III 【教会暦】指定なし。 (歌詞:ローディガストの同名コラール、第1節から6節)</p>
<p>BWV 101 《まことのみ神よ きびしき審きを》(1724) Nimm von uns, Herr, du treuer Gott 【教会暦】三位一体節後第10日曜日(=BWV 46, 102) [書簡]第1コリント12:1-11。BWV 46に同じ。次項参照。 [福音書]ルカ19:41-48。(同上)</p>
<p>BWV 102 《主の目は 信仰を見たもう》(1726) Herr, deine Augen sehen nach dem Glauben 【教会暦】三位一体節後第10日曜日(=BWV 46, 101) [書簡]第1コリント12:1-11。BWV 46に同じ(上掲)。 [福音書]ルカ19:41-48。(同上)</p>
<p>BWV 103 《なれら 泣き叫ばん》(1725) Ihr werdet weinen und heulen 【教会暦】復活節後第3日曜日(=BWV 12, 146) [書簡]第1ペトロ2:11-20。BWV 12に同じ。 [福音書]ヨハネ16:16-23。(同上)</p>
<p>BWV 104 《牧人 主よ 聞けよ》(1724) Du Hirte Israel, höre 【教会暦】復活節後第2日曜日(=BWV 85, 112) [書簡]第1ペトロ2:21-25。BWV 85に同じ。 [福音書]ヨハネ10:12-16。(同上)</p>
<p>BWV 105 《主 審きたもうな ながしもべを》(1723) Herr, gehe nicht ins Gericht 【教会暦】三位一体節後第9日曜日(=BWV 94, 168) [書簡]第1コリント10:6-13。BWV 94に同じ。 [福音書]ルカ16:1-9。(同上)</p>
<p>BWV 106 《神の時は いとも正し》(1707-08) Gottes Zeit ist die allerbeste Zeit 【用途】葬儀</p>
<p>BWV 107 《なんぞ悲しむや おお わが心》 Was willst du dich betrüben 【教会暦】三位一体節後第7日曜日(=BWV 54, 186, 187) [書簡]ローマ6:19-23。BWV 54に同じ。 [福音書]マルコ8:1-9。(同上)</p>
<p>BWV 108 《わが去るは なれらのため》(1725) Es ist euch gut, daß ich hingehe 【教会暦】復活節後第4日曜日(=BWV 166) [書簡]ヤコブ1:17-21。良い贈り物はみな、光の源である御父から来る。[福音書]ヨハネ16:5-15。わたしが去ってゆくのは、あなた方のためになる。</p>